

～宮城旅行「仙台」～

仙台牛タンツアーを開催しました。行きの新幹線でお菓子を食べてつ、パワフルスマイル全開で仙台へ。仙台駅に着くと、まずビックリ！ 駅全体が暗い…。震災の影響かと少し心配に思いながら、牛タンを食べに行きました。新幹線でお腹いっぱいになっていましたが、牛タンは別腹！ おいしい牛タンとテールスープを頂きました。

昼食後はタクシーで青葉城に移動。途中、震災の影響で迂回ルートになっており「まだまだ震災の影響は残っているんだなぁ」と思っていると、運転手さんから「仙台もだいぶ活気が戻って来たよ」というお話を聞き、少し安心しました。青葉城では“おもてなし武将隊”の「足軽」さんに歴史を説明して頂き、一緒に記念撮影。晴れていて、仙台市内が一望できました。

まだ震災の爪跡を残しつつも、美味しい食事と明るい人々の姿に癒される仙台。本日は日帰り弾丸ツアーでしたが、次に来る際には温泉にでも浸かって、ゆっくりしたいと思いながら東京へと帰りました。



(イメージ)

～秋田・青森旅行「十二湖・青森」～

7月の連休を利用して車中1泊2日、五能線の旅に行って来ました。仕事帰りに急いで上野駅から“あけぼの”に飛び乗りいざ出発！！実は初めての寝台でドキドキ。利用したのは“レディースゴロンとシート”です。なかなか寝付けませんでしたが、寝台乗車経験者のアドバイスどおりエアまくら+アイマスク+耳栓+大きめのタオル(体にかける用)を持参したところ大正解でした！(荷物が多くなりました)

朝早く起きて、車窓からポーッと朝日を見ながら秋田に到着。秋田では急いで日帰り入浴を利用した後に“リゾートしらかみ”に乗りました。車種はハイブリッドの“青池”でした。車内はとってもキレイでした。途中、バスケの街・東野代で停車中、フリースローに挑戦したところ奇跡的(!)にゴールが入り記念品をもらって十二湖へ。青池はとっても楽しみにしていましたが、リゾートしらかみに乗車した瞬間に曇ってしまった為、予想より青い色ではなく少し残念でした。でも雨が降らず涼しい気候だったので散策しやすかったです。散策する際は虫除け持参で長袖・長ズボンがオススメです。

その後は、またリゾートしらかみに乗り弘前へ。途中、千疊敷に10分間停車したので目の前の千疊敷にも行きました。潮風がとっても心地よかったです。

弘前に到着後に青森へ。アスパムで買い物をしてから、“みそカレー牛乳ラーメン(ミニサイズ)”と、以前から気になっていた“みそカレー牛乳餃子”を食べました。餃子もしっかりみそカレーの味がしてジューシーでした。新青森で新幹線を待っている間、トマトのジェラートを見つけてチャレンジしてみました。フルーティーで甘酸っぱくて美味しかったです。女性は好きな味だと思います。

東北を満喫した満足感からか、帰りの車内ではぐっすり寝てしまいました。でも内容の濃い2日間でした。次回は、わさおに会いに行ったり不老不死温泉に行きたいと思います。



(イメージ)

～青森旅行「浅虫温泉」～

青森県浅虫温泉に行ってきました。

浅虫温泉へ新型車両はやぶさに乗って出発しました。初めて乗るはやぶさはピカピカで座席もゆったり、新青森駅までとても快適でした。

浅虫温泉に到着してまずはお昼です。せっかく東北に来たのだから新鮮なお魚を食べようと

私たちは浅虫温泉駅から程なくのお店「鶴亀商店」さんへお邪魔しました。

こちらの海鮮丼がすごいなの！これでもかと言うほどのマグロの刺身がてんこ盛りです。

サイズはミニ盛、小盛、中盛、大盛とあります。ミニ盛でも顔を隠しちゃうくらい大きさのマグロの盛り付けです。

胃袋に自信のある方はぜひ大盛にチャレンジしてみてください。

マグロでパンパンのお腹を抱えて、本日のお宿「海扇閣」へ。

最上階から湯の島を眺めながら入る眺望美しい温泉、美味しい料理とお酒に舌鼓を打ち、心揺さぶる津軽三味線の生演奏と素晴らしいおもてなしに日頃の仕事の疲れを忘れて楽しい夜を過ごしました。

中でも素晴らしいのは夜の散策で観た蛸たちです。暗闇のほのかな灯りに日本の“涼”を感じました。

次の日は青森市内で名物カレー牛乳味噌ラーメンをいただきました。お店は「味の札幌 大西」。どんな味が気になる方はぜひ青森まで足を運んでみてください。

最後は「ねぶた記念館 ワラッセ」、「Aファクトリー」と、郷土の雰囲気を目一杯堪能し帰りました。

本当に楽しい旅行でした。青森は美味しいものも美しい景色も沢山あります。いくたび新たな発見のある青森へ皆さんも出掛けてください！



(イメージ)

～青森旅行「浅虫温泉」～

6名で青森へ出発しました。

列車を乗り継ぎ東京駅を11時56分のはやて号に乗りました。終点の新青森駅までは4時間を越える長旅でしたが、昼食の駅弁を楽しんだり様々な会話で盛り上がり、終点の新青森駅まではあっという間に感じられました。新青森駅からはレンタカーを借り、八甲田丸とアスパムを見学しました。

その後、浅虫温泉の秋田屋に宿泊しました。温泉で旅行の疲れを癒し、宴会では無礼講で盛り上がり旅行1日目は終了しました。

翌日はレンタカーで昭和大仏を見に行き、青銅製の坐像大仏では日本最大という大きさに驚きました。次に八甲田山雪中遭難資料館に行き、何故、危険を承知でこのような演習をしたのか、どうしてこんな多くの犠牲者を出す遭難事故がおきてしまったのか、を改めて学ぶことが出来ました。

その後、昼食のため名物の津軽そばを食べに映画の撮影にも使われた三忠食堂に行きました。が、製麺所が工事中のため目当ての津軽そばが食べられなかったのは唯一の心残りでした。最後に弘前城を見学して立派なお城とお堀の前で記念写真を撮って事故も無く楽しい旅行が終わりました。

今回、旅行した青森は震災の影響の面影も無く、すっかり元通りの生活に戻っていて安心しました。みなさんも関東より涼しい東北地方に復興支援も兼ねた旅行をしてみたいかがでしょうか。



(イメージ)

～青森旅行「盛美園」「黒石」～



(イメージ)

14名で青森旅行をしてきました。

1日目は、東京駅8:44発「はやぶさ」に乗って出発しました。

初めて乗るはやぶさは、揺れも音も静かで快適な乗り心地に全員満足でした。

4時間という長い時間を感じさせないくらい、車内ではみんな和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。

新青森到着後、ポスターやCMにも使われている「盛美園」に立ち寄りました。

さすが宮崎駿が映画のモデルにただけあって、洋風の建物、純和風の庭がとても素敵でした。

宿泊先は「南田温泉 アップルランド」でした。ホテルのシンボル観音像が私達を出迎えてくれました。お風呂はトロトロしたお湯で女性にはおすすめできる温泉です。

夕食後の2次会は、ホテル内のスナックでお酒とカラオケで大いに盛り上がりました。

2日目は、黒石まで足をのばし、こみせ通りでは散策&三味線を聴き、B級グルメの「黒石つゆやきそば」を食べました。和風のダシと焼きそばソースの味がマッチして、とても美味しかったです。

天気にも恵まれ、親睦も深まり、とても充実した2日間を過ごす事ができました。

～青森旅行「鯉ヶ沢」～

青森の鯉ヶ沢に行ってきました!

行きは「はやぶさ」に乗車し、席の広さにみんなご満悦 新青森で美味しい、海鮮丼を堪能し、

「リゾートしらかみ」へ! 「リゾートしらかみ」のB個室席は、椅子をベッドのように変更させる

とが出来、感激しまくりでした! そして、お腹いっぱいメンバーは、しばし睡眠・・・zzz

今夜の宿泊場所は「グランメール山海荘」! お風呂で汗を流して、美味しい夕飯とお酒を堪能し、2次会はストレス発散・・・歌いまくり～～

そして、2日目は、鯉ヶ沢名物「わさお」を見て帰りました。振り返ると、食って・飲んでばかりの旅行だったような・・・でも・・・たまには、そんな旅行もいいもんですよ!



(イメージ)

～青森旅行「奥入瀬」～

13名で奥入瀬溪流ホテルに1泊してきました。

はやて号で八戸へ、八戸～ホテルは貸切バスをお願いし移動しました。

このホテルのラウンジメニュー“森のアップルパイ”はオススメです!!

りんごの形に焼き上げられたアツアツのアップルパイにラズベリーと冷たいバニラアイスが添えてありフルーツソースをかけ、奥入瀬の緑を眺めながら広いラウンジで優雅に頂く事ができます。びゅう商品で行くと、この特典がついてきます

夕食のバイキングも多彩なメニューで、一押しは目の前で作ってくれる、ガーリックステーキの鉄板焼き・ホタテ焼き・天ぷら、ひとつひとつの野菜を組み立てて作るシェフのサラダはとても繊細でかわいくオシャレです。

温泉も3種類のお風呂があり、特に溪流沿いの混浴露天は時間制で貸切、女性専用と区切られているのでよかったです。硫黄の臭いがほのかにし、ここの湯は疲労回復に効くそう。

翌日はあいにくの雨・・・。この日は1時間の奥入瀬溪流散策の予定でしたが、急遽行程を変更し、ドライバーさんのご提案でホテル～十和田湖の間、奥入瀬のオススメスポットとなる数箇所を途中下車観光・写真撮影しながらまわりました。

雨で溪流は若干濁っていましたが、自然豊かな奥入瀬溪流はマイナススイオンたっぷりで雰囲気良く、身も心もリフレッシュできました。



(イメージ)

～青森旅行「奥入瀬」「弘前」～

東京駅11時28分発、はやて165号で出発。新青森駅でレンタカーを借り、「ねぶたの里」で日本が誇る世界の火祭「ねぶた」の勇壮華麗な姿を一台一台見学しました。その後、今回宿泊する「奥入瀬渓流ホテル」に向いました。

夕食は、ズワイガニや毛がに等の海の幸、肉料理など食べきれないほど料理が出て来ました。

ホテルで感動した事は、びゅう特典の「森のアップルパイとコーヒーまたはハーブティー」です。まるで、外国にバカンスにでも行って軽食を食べている気分させられるほど美味しいアップルパイでした。具体的には、シナモンの香り豊かなりんごをアツアツのアップルパイにしたのと冷たいバニラアイスクリームにフルーツソースをかけて頂くスイーツ、コーヒーやハーブティーも手間ひまかけて作った飲み物で絶対オススメです！

次の日、9時30分頃出発して、奥入瀬渓流の大小の滝や新緑豊かな景色を車で見ながら、十和田湖の展望台や乙女の像の散策をしました。翌日も天気良く、雑誌で載っているような奥入瀬渓流や十和田湖の風景が見れて心身ともに癒されました。

その後、弘前に戻り昼食を「奥膳懐石 翠明壮」で食べました。ここは、明治28年に建築された建物で有名人も数多く食事をされ、地場の旬の食材を使った懐石料理はどれも美味しく優雅なひとときをすごせる場所です。

今回の旅行は身も心もリフレッシュした思い出に残る旅行になりました。



(イメージ)

～青森旅行「青森市内」「白神山地」～

10名で青森旅行に行ってきました。新青森までは、はやぶさを利用しましたが、偶然にも旅行者全員がはやぶさ初体験ということもあり、東京駅の新幹線ホームからテンションも上がりましたが、ここはこらえて車内では他のお客さまに迷惑が掛からないよう静かな宴会を催しました。

青森駅到着後は市内観光で初日は終了。宿は弘前駅から車で20分程の「ホテルアップルランド」で宿泊。露天風呂には青森名産のりんごが浮いていて優雅なひと時を過ごせました。

2日目には世界遺産にも登録されている白神山地に行ってきました。山道を1時間かけて「暗門の滝」と呼ばれる名所に行き、自然のマイナスイオンをたっぷり浴び、心も体もリフレッシュしてきました。

震災から約4ヶ月経ち青森駅で「がんばろう東北」のスローガンを目にしました。駅前の賑わいは平日ということもあり若干少ないようには感じましたが、市場などの観光施設は、笑顔で私たちを迎え入れてくれました。

私たちが出来る復興支援は義援金だけではなく、現地に足を運び、触れ合うことが現地の皆さまを元気づけることになるのではないかと思います。わずか1泊の旅行でしたが、被災地の皆さまに逆に元気を頂きとても楽しく思い出に残る旅行になりました。

今の季節、東北は夜とても涼しく冷房いらずで、心地よく過ごせます。皆さまも是非一度東北地方に足を運んでみては如何でしょうか。



(イメージ)